

■ 災害情報の入手方法

災害時の情報の取得にはいくつかの方法があります。
いざという時にあわてないよう、**情報入手方法をあらかじめ確認**しておきましょう。
また、SNSや緊急メールとよたなどの**事前登録が必要なものは早めに登録**しておきましょう。

PUSH型	PULL型
自動的に届く情報	自分から取りに行く情報
<ul style="list-style-type: none"> ● 防災行政無線・防災ラジオ ● 緊急メールとよた ● 防災アプリ (Yahoo!防災速報、ゆれくるコール) ● 豊田市公式SNS など 	<ul style="list-style-type: none"> ● テレビ・ラジオ (ひまわりネットワーク、FMとよた、NHKデータ放送 など) ● インターネット (豊田市HP、キキクル、防災ポータル など)

■ 警戒レベルについて

警戒レベル	行動を促す情報	住民がとるべき行動
5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保 今いる場所より安全な場所へ今すぐ移動
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~~		
4	避難指示	危険な場所から全員避難 災害リスクのある区域に住む人はすぐに避難
3	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等、避難に時間を要する人は避難開始



2021年5月に、避難情報が発せられる際の警戒レベルが見直され、それまでの「避難勧告」がなくなり、「**避難指示**」に一本化されました。  
避難レベル3・4が発令された地域内で危険な場所にいる方は、**速やかに避難**して下さい。

発行 豊田市役所 藤岡支所

令和3年度地域予算提案事業（藤岡地域会議） 令和4年1月発行  
【お問合せ】豊田市役所 藤岡支所 地域振興担当（TEL：0565-76-2102）

保存版

# 2021年度 藤岡地域 防災 カルテ 石畳小学校区

## ■ 防災カルテの目的

私たちは、災害から命を守るために、日頃から防災に関心を持ち、考え、取り組むことが必要です。さらには、個人や家庭、自治体の防災力を高めていくことが重要です。  
このカルテは、個人・家族・自治体で、次のような防災の取組を始めていただくきっかけとなる情報を提供することを目的としています。

- ①自分の住む自治体に、どのような災害が起こる恐れがあるのかを理解する。
- ②災害が起こった場合に、自治体にはどのような課題があるのかを認識する。
- ③課題に対応し、個人・家族・自治体でどのような取組を行う必要があるのかを考える。
- ④災害への備えを行う。

## ■ 防災カルテの見かた・使いかた

### STEP 1 災害の危険性を学ぶ

私たちの住む石畳小学校区には、  
どのような災害のリスクがあるのか知っていますか？  
本学区における「災害の被害想定」、特に危険性の高い「土砂災害」や「過去の災害」についてまとめています。

### STEP 2 災害時の地域の危険箇所を認識し、情報を共有する

地域のみなさんが感じる**災害発生時の危険箇所**を地図に示しています。  
さらに、自宅の位置や自分が知っている危険な場所を書き込んで、家族や近所の人たちと情報を共有しましょう。

### STEP 3 地域課題を認識し、 取り組むべき対策を考える

2021年6月に石畳小学校にて実施した住民ワークショップで出た意見を整理して記載しています。私たちの地域には、**どのような強み・弱み・課題**があるのかを知り、それらを解決するためには**何に取り組むべきか**を考えてみましょう。  
また、同時期に行ったアンケートの結果（一部）も載せています。

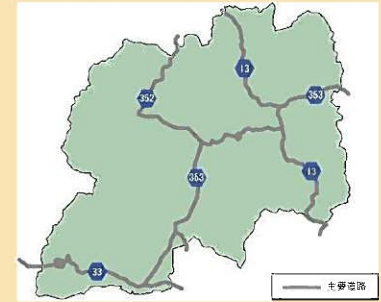
### STEP 4 個人や家庭における 災害への備えを進める

**非常時の持ち出し品・備蓄品リスト**を載せています。リストを参考に、物品を揃えておきましょう。また、災害に備えて、家族や周りの人と話し合いながら「**マイ・タイムライン**」を作ってみましょう。避難行動を想像することも、災害への備えになります。  
最後に、災害が起きたときの情報の収集方法、市から発表される情報の種類と取るべき行動を載せています。

## ■ 石畳小学校区の概要

### 【自治区】

本学区は、三箇町、大岩町、西市野々、白川町、石畳、北曾木、折平町、ファーツリーの8自治区で構成されています。



### 【基本情報（令和3年4月1日時点）】

	石畳小学校区								藤岡地区 全体	市全体
	全体	三箇町	大岩町	西市野々町	白川町	石畳町	北曾木町	折平町 (ファーツリ一含)		
面積 (km ² )	19.40	5.63	1.23	3.02	3.83	1.16	1.15	3.35	65.58	918.32
人口密度 (人/km ² )	150.2	48.5	21.1	44.7	89.8	929.3	284.3	217.9	294.8	458.8
人口 (人)	2,913	273	26	135	344	1,078	327	730	19,332	421,280
男性	1,471	140	17	65	174	551	165	359	9,880	219,259
女性	1,442	133	9	70	170	527	162	371	9,452	202,021
世帯数	1,131	116	13	54	134	408	133	273	7,293	183,167
平均年齢 (歳)	46.92	55.98	63.96	56.99	50.02	44.37	47.68	43.03	44.02	43.90

出典：(面積・人口・世帯数) 豊田市「町別面積・人口・世帯数」  
(石畳小学校区の平均年齢) 豊田市「町別年齢別人口」  
(藤岡地区・市全体の平均年齢) 豊田市「全市・地区別男女別年齢別人口」

### 【地形の特徴】

石畳小学校区は、藤岡地域北部に位置し、木瀬川・飯野川に流れ込む中小河川が流れており、自然豊かな地域です。  
本学区の地形は、山地が大きな部分を占めており、河川沿いに低地が形成されています。集落の多くは、河川と急傾斜地を有する山地との間にあります。  
本学区の地盤は、山地部は硬岩地盤で比較的安定しています。しかし、地表面に近い地質は、風化を受け砂状になりやすい花崗岩類から形成されており、崩壊を起こしやすい特性があります。

## ■ 石畳小学校区の災害の危険性

- ❗ 地震の予測震度は、豊田市街と比較して相対的に小さいが、局所的に大きな揺れが生じる可能性がある。
- ❗ 地質が風化しやすい花崗岩であり、急傾斜の斜面に接して立地している集落が多いことから、地震時や集中豪雨時に土砂災害の危険性が高い。
- ❗ 木瀬川、飯野川に流れ込む中小河川に接して集落が形成されていることから、集中豪雨による河川の氾濫・浸水被害を受けやすい。

# ■ 石畳小学校区における災害の被害想定

## 【地震被害】

「豊田市地震被害予測結果報告書（H27）」を基に作成

		過去地震最大モデル	理論上最大想定モデル
震度分布図			
建物被害	全壊・焼失棟数	揺れ	0
		急傾斜地崩壊等	1
		計	1
	半壊棟数	揺れ	8
		急傾斜地崩壊等	1
		計	9
人的被害	死者数	0	
	重傷者数	0	
	軽傷者数	1	

過去地震最大モデル：過去に南海トラフで繰り返し発生している地震のうち、発生したことが明らかで規模の大きい5つの地震を重ね合わせたモデル  
 理論上最大想定モデル：南海トラフで発生する恐れのある地震のうち、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震を想定したモデル

## 【土砂災害】

本学区には土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域が指定されています。これらの区域については、7～14ページの「危険箇所マップ」に表示しています。

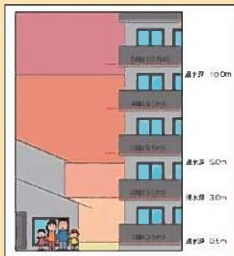
## 【浸水被害】

豊田市洪水ハザードマップによる石畳小学校区の浸水予想状況は、右図の通りです。



出典：豊田市洪水ハザードマップ（令和3年3月9日）

想定される浸水の深さ	
	10m以上～
	5m以上～10m未満
	3m以上～5m未満
	0.5m以上～3m未満
	～0.5m未満



# ■ 地震被害について

## 【震度階級と揺れの状況】

気象庁「気象庁震度階級関連解説表」を基に作成

<p><b>震度 4</b></p> <p>ほとんどの人が驚く。電灯などの吊り下げ物が大きく揺れる。座りの悪い置物が倒れることがある。</p>	<p><b>震度 5弱</b></p> <p>大半の人が恐怖を覚え、ものにつかまりたいと感じる。棚にある食器類や本が落ちることがある。</p>	<p><b>震度 5強</b></p> <p>ものにつかまらないうち、歩くことが難しい。棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。</p>
<p><b>震度 6弱</b></p> <p>立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。</p>	<p><b>震度 6強</b></p> <p>這わないと動くことができない。耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなる。</p>	<p><b>震度 7</b></p> <p>耐震性の高い木造建物でも、傾くものがある。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物は、倒れるものが多くなる。</p>

### 南海トラフ地震

南海トラフ地震は、現在、東海地区で**最も発生が心配されている巨大地震**です。政府の調査では、**今後30年以内に70%～80%の確率で発生すると**されています。  
 最悪の場合、**死者は32万人を超え、経済被害も220兆円を上回ると**されています。  
 本学区での揺れは**震度5強程度**と想定されており、市西部及び南東部ほどの被害にはなりません。周辺の都市や地域が広い範囲で被災することで、物の供給や経済活動に必要な様々なサービスが停止し、**日常生活に混乱をきたす可能性は十分に考えられます。**

### 猿投-高浜断層帯の地震

本学区には、猿投-高浜断層帯の一部である**猿投-境川断層帯が南北に通っています。**そのため、この断層帯が震源となった地震が起きれば、**南海トラフ地震よりも大きな揺れ（震度5強～6弱）に見舞われます。**  
 断層の活動周期から、南海トラフ地震と比較して**発生確率はそれほど高くない**とされていますが、現在の技術水準では誤差もあることから、**油断は禁物**です。

## ■ 土砂災害について

石畳小学校区では、どの自治区にも土砂災害警戒区域があり、土砂災害は最もリスクの高い災害の一つです。

土砂災害は、梅雨や台風など一度にたくさんの雨が降るときに、突発的に発生します。特徴としては、破壊力が大きく地域に壊滅的な被害をもたらし、人的被害も大きいことがあげられます。

代表的な土砂災害として「土石流」「がけ崩れ」「地すべり」があります。

大雨が降った場合、土砂災害が発生する前にいくつかの兆候（前兆現象）が確認された事例もあります。雨量等の情報に合わせて、これらの前兆現象にも注意してください。

### 土石流



土石流は、山や谷の土砂が大雨などで崩れ、水と混じってどろどろになり、ものすごい勢いでふもとに向かって流れていく現象です。

「山津波」「てっぼう水」「蛇抜け」などとも呼ばれます。

#### 【前兆現象】

- 山鳴りがする
- 急に川の水が濁り、流木が混ざり始める
- 腐った土の匂いがする
- 降雨が続くのに川の水位が下がる
- 立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる

### がけ崩れ



がけ崩れは、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。

雨水や雪解け水ががけにたくさんしみこんだことが原因で起きたり、地震の揺れによって起きたりします。

#### 【前兆現象】

- がけにひび割れができる
- 小石がバラバラと落ちてくる
- がけから水が湧き出る
- 湧き水が止まる・濁る
- 地鳴りがする

### 地すべり



地すべりは、比較的緩い傾きの斜面が広範囲にわたって、すべり落ちていく現象です。

地すべりは動く範囲が広いので、家や田畑、道路や鉄道などが、一度に大きな被害を受けてしまいます。

#### 【前兆現象】

- 地面のひび割れ・陥没
- がけや斜面から水が噴き出す
- 井戸や沢の水が濁る
- 地鳴り・山鳴りがする
- 樹木が傾く
- 亀裂や段差の発生

出典：特定非営利活動法人 土砂災害防止広報センター、政府広報オンライン

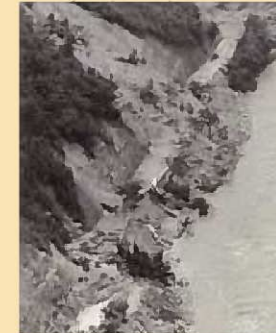
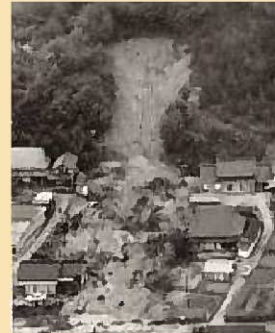
## ■ 土砂災害について

過去に起きている災害は、繰り返し起きます。そして、忘れた頃にやってきます。

### 【昭和47年7月豪雨による土砂災害】

昭和47年7月12日夜半から13日の未明にかけての豪雨により、西三河地方を中心に大きな被害をもたらされました。豊田市の人的被害は死者・行方不明者63名、建物被害は全半壊519棟、床上・床下浸水5,406棟でした。

藤岡地域でも、上川口町、下川口町、木瀬町などを中心に大きな被害を受けました。



出典：昭和47年7月豪雨災害40周年記念誌（豊田市発行）、愛知県ホームページ「昭和47年7月災害」

### 【平成12年9月東海豪雨による土砂災害】

平成12年9月11日から12日にかけて、秋雨前線と台風14号の影響により記録的な豪雨となり、各地で土砂災害が発生し、豊田市では死者1名、家屋全半壊16棟の被害を受けました。

石畳小学校区においては、①三箇町から木瀬町に至る県道豊田多治見線で倒木と土砂の流出により道路が通行できなくなる被害、②石畳町にて裏山の土砂が付近の民家まで押し寄せる被害が発生しました。



平成12年東海豪雨 被害箇所①



平成12年東海豪雨 被害箇所②

# ■ 災害危険箇所マップ (三箇町自治区・大岩町自治区)

災害の危険性を知る

地域の危険箇所を知る

地域で取り組むべき対策を考える

災害へ備える



7 ※地図作成にあたっては、「国土数値情報」(国土交通省)、「基盤地図情報」(国土地理院)、「地図で見る統計」(JSTAT

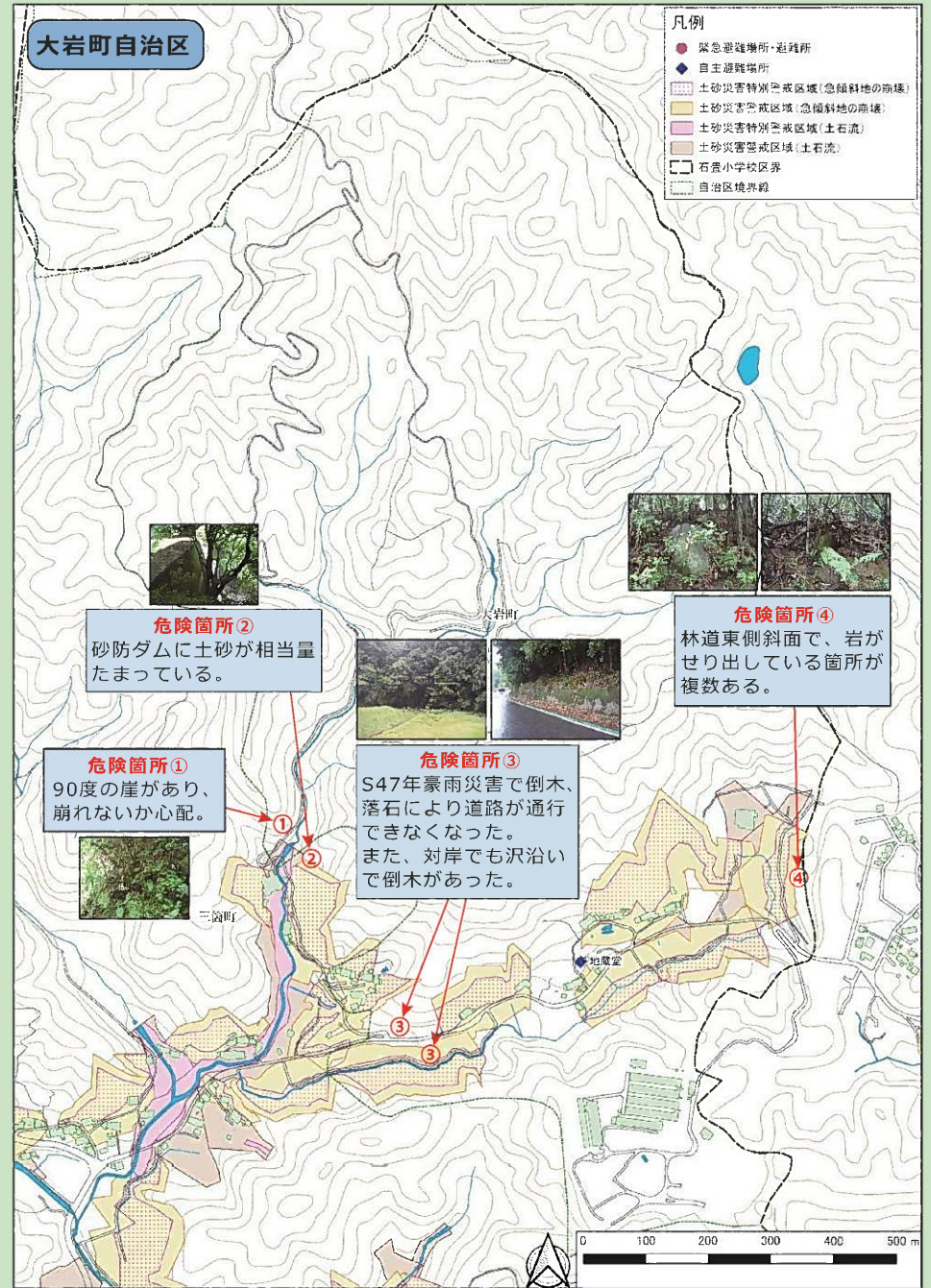
このマップは、本学区のみなさんに行った現地調査に基づいて作成したものです。  
・自宅の場所を地図に書き込んで、身の回りにどんな危険があるかを調べましょう！  
・近所の危ない場所を書き込んで、家族や近所の人にも教えてあげましょう！

災害の危険性を知る

地域の危険箇所を知る

地域で取り組むべき対策を考える

災害へ備える



MAP) 境界データ」(総務省)を加工して使用しています。

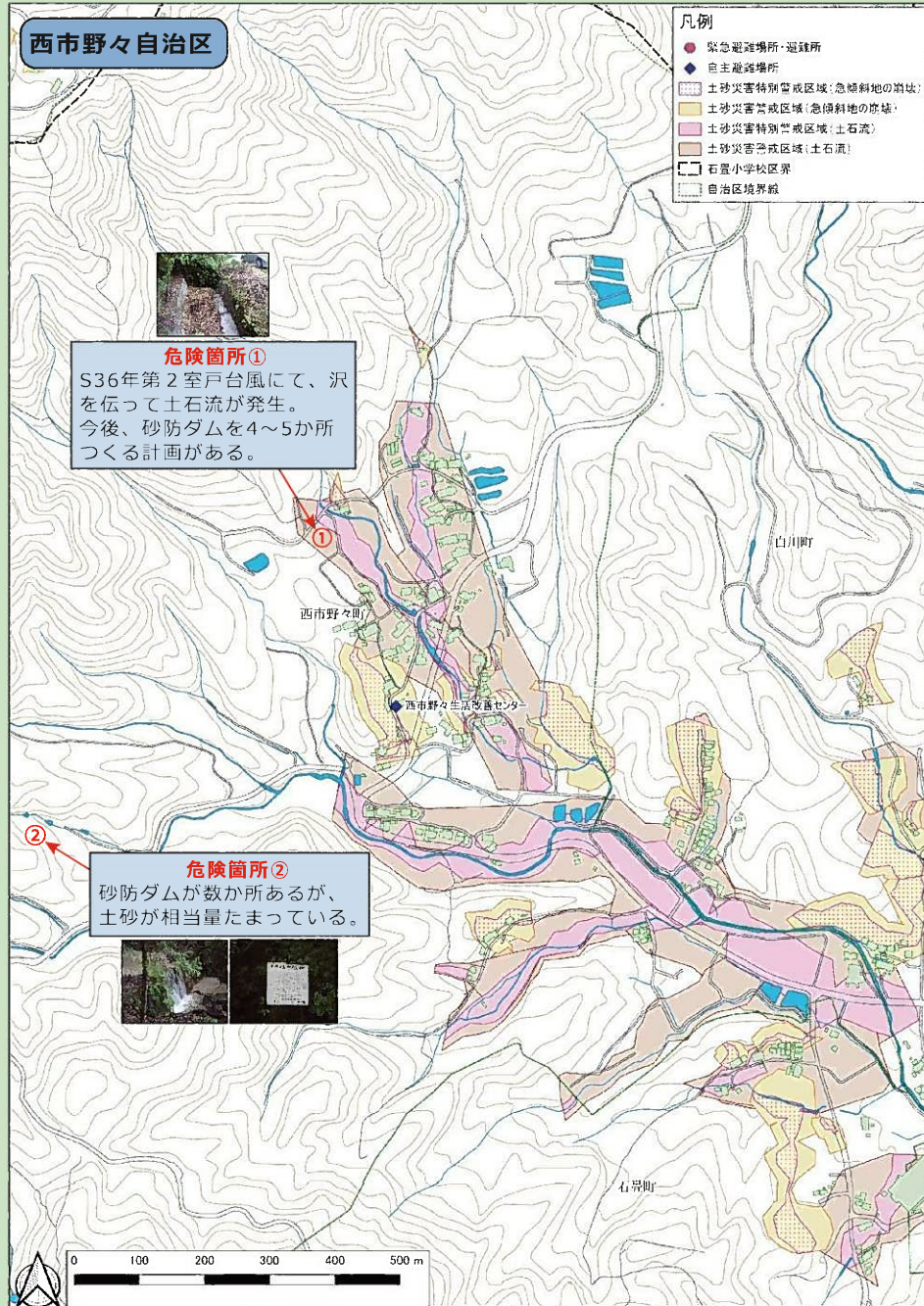
# ■ 災害危険箇所マップ (西市野々自治区・白川町自治区)

災害の危険性を知る

地域の危険箇所を知る

地域で取り組むべき対策を考える

災害へ備える



このマップは、本学区のみなさんに行った現地調査に基づいて作成したものです。  
・自宅の場所を地図に書き込んで、身の回りにどんな危険があるかを調べましょう！  
・近所の危険ない場所を書き込んで、家族や近所の人にも教えてあげましょう！

災害の危険性を知る

地域の危険箇所を知る

地域で取り組むべき対策を考える

災害へ備える



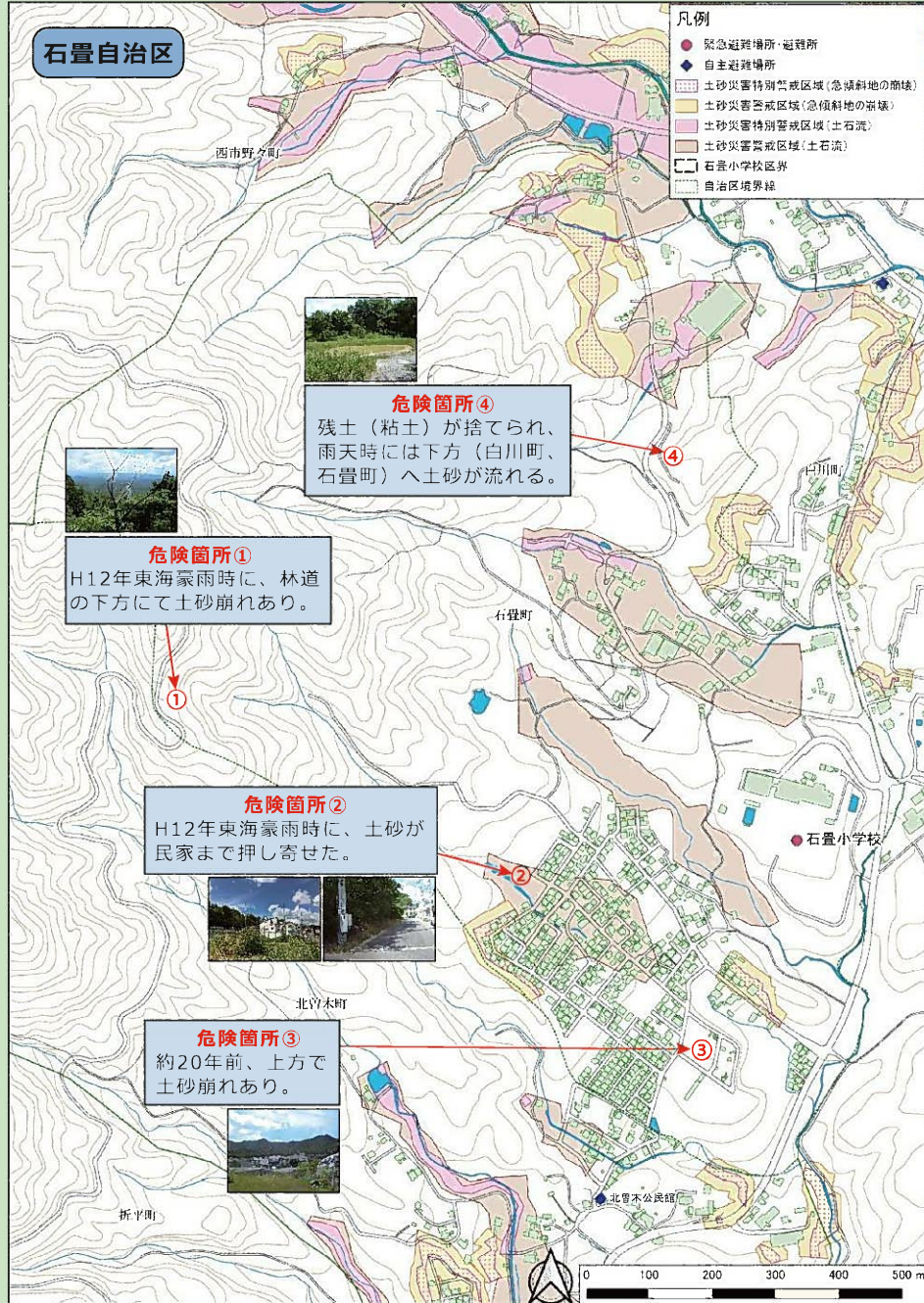
# ■ 災害危険箇所マップ (石畳自治区・北曾木自治区)

災害の危険性を知る

地域の危険箇所を知る

地域で取り組むべき対策を考える

災害へ備える



11 ※地図作成にあたっては、「国土数値情報」(国土交通省)、「基盤地図情報」(国土地理院)、「地図で見る統計」(JSTAT

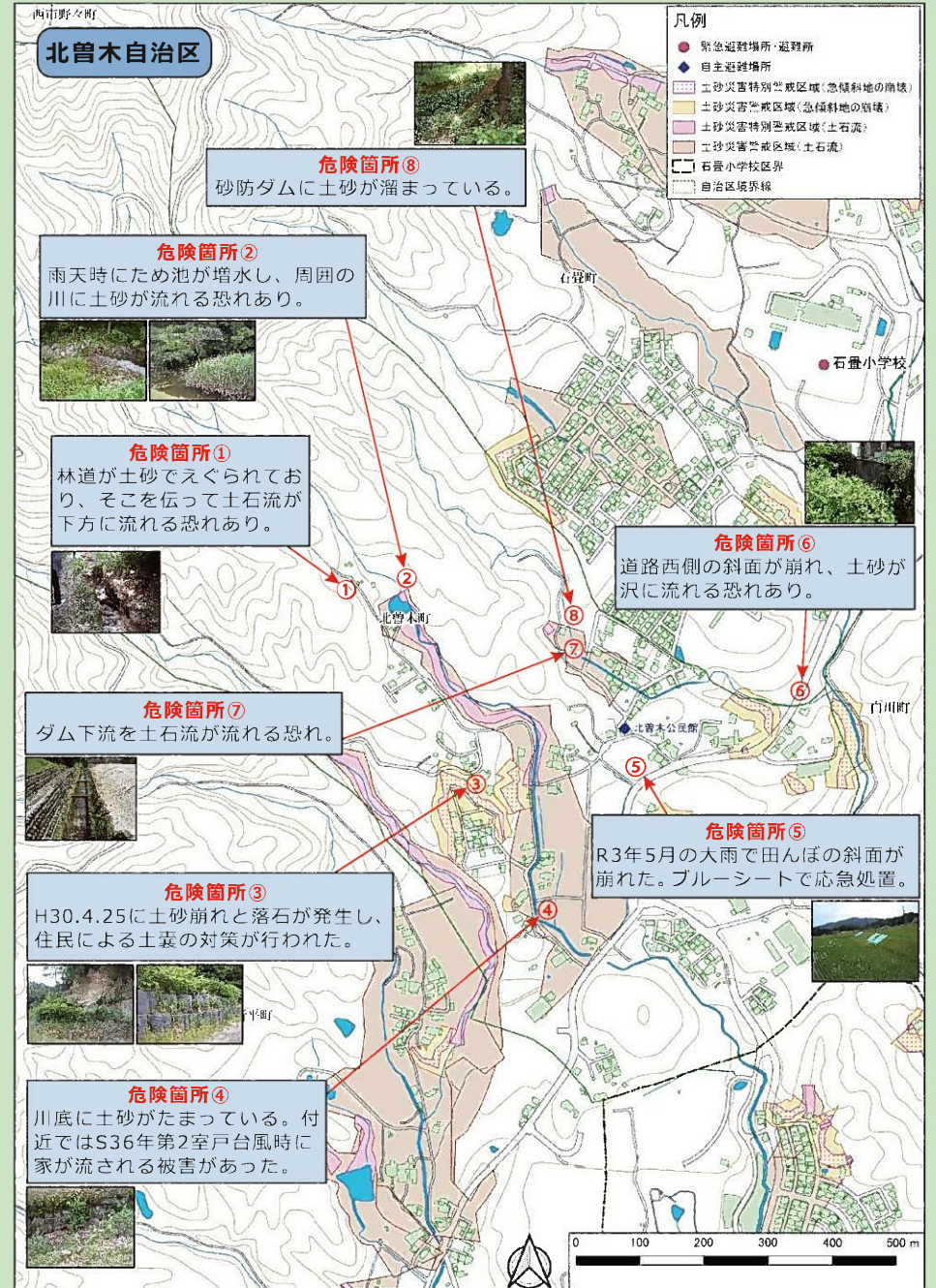
このマップは、本学区のみなさんに行った現地調査に基づいて作成したものです。  
 ・自宅の場所を地図に書き込んで、身の回りにどんな危険があるかを調べましょう！  
 ・近所の危ない場所を書き込んで、家族や近所の人にも教えてあげましょう！

災害の危険性を知る

地域の危険箇所を知る

地域で取り組むべき対策を考える

災害へ備える



MAP) 境界データ」(総務省)を加工して使用しています。

# 災害危険箇所マップ (折平町自治区・ファーツリー自治区)

このマップは、本学区のみなさんと行った現地調査に基づいて作成したものです。  
 ・自宅の場所を地図に書き込んで、身の回りにどんな危険があるかを調べましょう！  
 ・近所の危ない場所を書き込んで、家族や近所の人にも教えてあげましょう！

災害の危険性を知る

地域の危険箇所を知る

地域で取り組むべき対策を考える

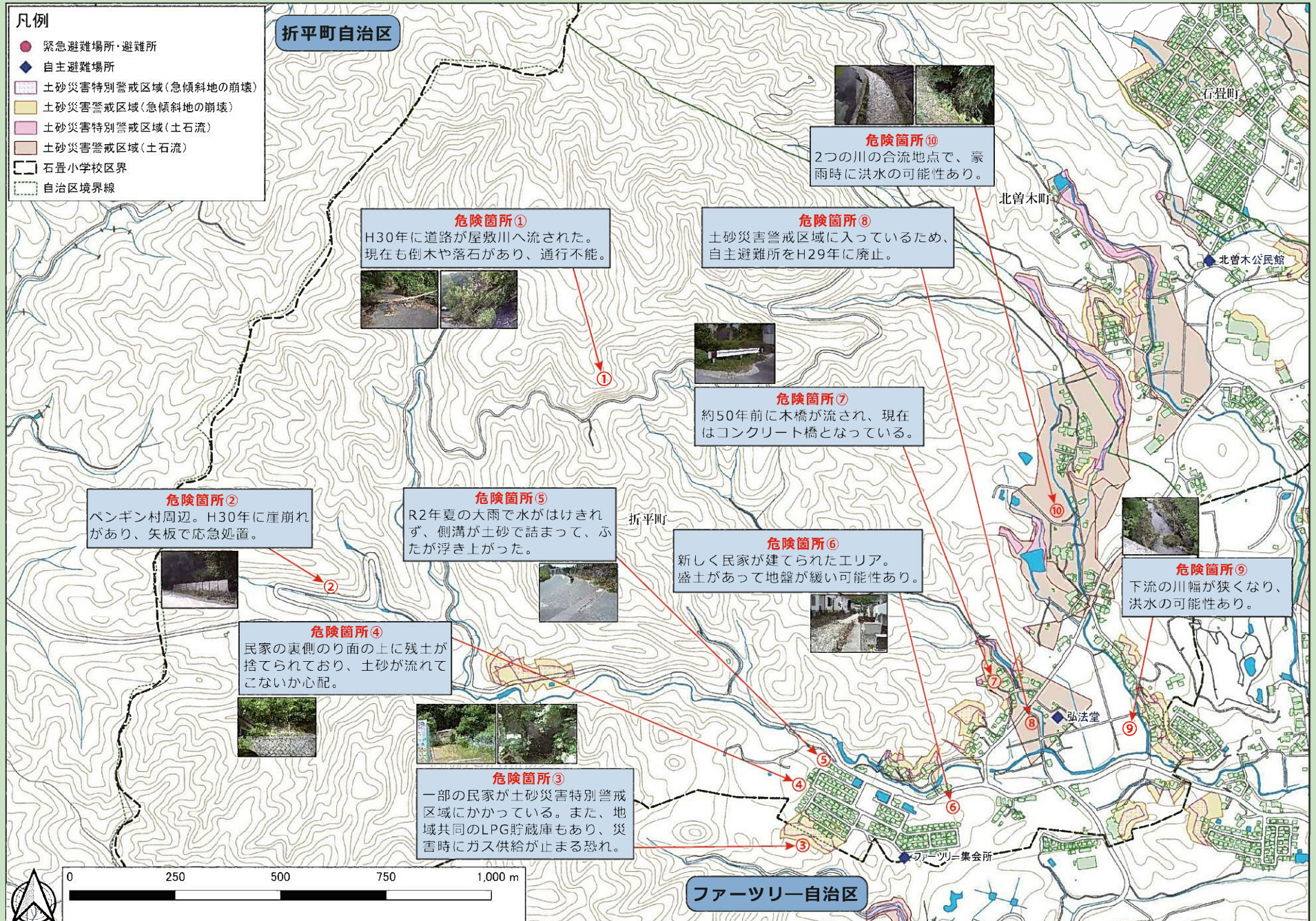
災害へ備える

災害の危険性を知る

地域の危険箇所を知る

地域で取り組むべき対策を考える

災害へ備える





# ■ 防災上の課題・今後取り組むこと

このページの内容は、2021年6月27日開催の「石畳小学校区防災ワークショップ」において、参加者の皆さんで出合っていたいただいたご意見をまとめたものです。  
とりまとめにあたっては、それぞれハード面（施設・設備・物資等に関すること）とソフト面（人的な活動・取組に関すること）に分けて整理しています。

## 地域の強み

- 【ハード面】
- 自家用車・軽トラ所有者が多い
  - 学校がある
  - 避難所がある
  - 空地がある
  - 地盤が強い



- 【ソフト面】
- 地域住民が互いに顔見知り・知り合いであり、声掛けができる
  - 住民同士が協力し合える
  - 防災会があり、防災訓練が行われている

## 地域の弱み

- 【ハード面】
- 土砂災害警戒区域が広範囲
  - 土砂災害警戒区域に民家がある
  - 山が多い、坂が多い
  - 家が古い、耐震補強していない
  - 避難所が遠い
  - 避難ルートの選択肢が少ない
  - 土砂災害があると生活道路がふさがれる恐れがある

- 【ソフト面】
- 高齢者が多い
  - 高齢者のひとり暮らしが多い
  - 外国人の住民とのコミュニケーションが難しいときがある
  - 自助共助の仕組みがない

## 防災上の課題

- 【ハード面】
- 避難所までの距離が遠い
  - 避難所を安全な場所（土砂災害警戒区域外等）に配置
  - 災害時、**自治区内が分断される恐れ**



- 【ソフト面】
- 家庭内防災グッズの準備
  - 高齢者、要配慮者への配慮**
  - ひとり暮らしの方への支援体制をつくる
  - 若い世代が少ない
  - 外国の方とのコミュニケーションがとりにくい
  - 災害情報が入ってこない**、避難指示の手段が不明確
  - 早期避難の意識徹底**
  - 災害時の役割が決まっていない、マニュアル等がない
  - 住民名簿がない**

## 自治区（地域）で取り組むこと

- 【ハード面】
- 防災時の**救助グッズ・非常食の準備**
- 【ソフト面】
- 災害時のマニュアル等作成、**支援体制づくり**
  - インフラ設備が使用できないときの対応方法についての話し合い
  - 住民の名簿作成**
  - 高齢者の把握、配慮**
  - 日頃から近隣住民とのコミュニケーションをとる
  - 防災会の活動を区民全体に広げる
  - 防災ニュースの定期発行
  - 危険箇所の情報共有**
  - 災害連絡網の活用
  - 避難情報伝達**のシステムづくり



## 個人・家庭で取り組むこと

- 【ハード面】
- 耐震補強**
  - 家具等の**転倒防止**
  - 安全な場所の確認
  - 資材・設備の定期点検
- 【ソフト面】
- 家庭内**防災グッズ・非常食の備え**
  - 災害時の避難行動（経路・手段等）の確認、話し合い**
  - 連絡の取り方**についての話し合い
  - インフラ設備が使用できないときの対応方法についての話し合い
  - 土砂災害の発生前に避難する意識
  - 災害情報入手**の手段確保（ラジオ等）
  - 防災意識の向上（近所の地形を把握する等）
  - 防災キャンプの体験

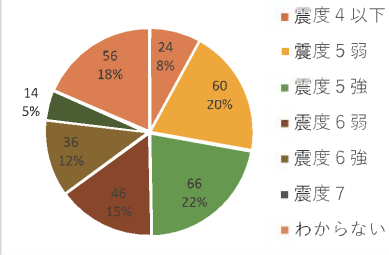


# ■ アンケートの結果から

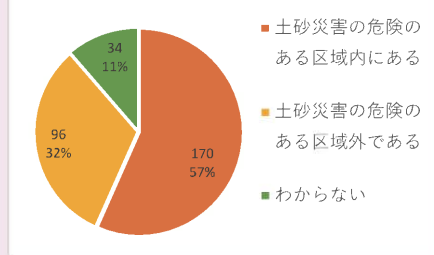
2021年6月から7月にかけて、本学区の住民の皆さんを対象に防災に関する現状・課題を明らかにし、今後に役立てるためのアンケート調査を実施しました。  
 そこで得られた回答の中から、代表的なものをピックアップして掲載しますので、ご自分の認識や考えと比べていただき、今後の災害対策に役立ててください。

アンケートの概要	
調査方法	自治区から各世帯に調査票を配布し、後日郵送で回収
調査期間	2021年6月下旬～7月末
アンケートの形式	選択式（一部記述式）、無記名にて実施
配布数・回収数	配布数1,000部・回収数311部（回収率：31.1%）

## 【災害の認識（地震の震度）】

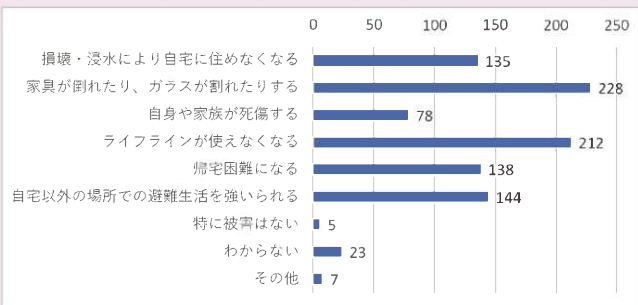


## 【災害の認識（土砂災害）】



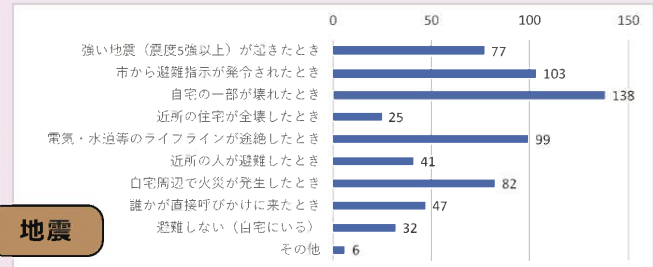
大規模地震が発生したときの震度想定についての質問では、多くの方が震度5弱～6強の範囲で回答しており、被害の程度が概ね正しく捉えられています。  
 一方、自宅場所が土砂災害の危険のある区域にあるかという質問には、6割近くの方が「区域内にある」と回答しており、土砂災害に対する危機感が強い地域です。

## 【被害の認識】

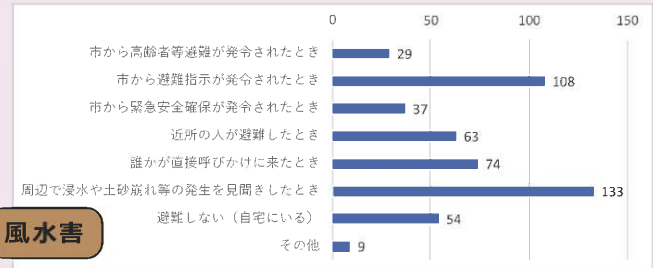


大規模地震や土砂災害が発生したとき、どのような被害に遭うかについては、自身や家族の死傷といった生命・身体に関する被害よりも、自宅の損傷・浸水、ライフラインの使用不可など住まいに関する被害や帰宅困難・自宅以外の場所での避難生活など自宅以外の場所で避難生活を強いられるという回答が多く集まりました。

## 【避難のタイミングに関する意識】



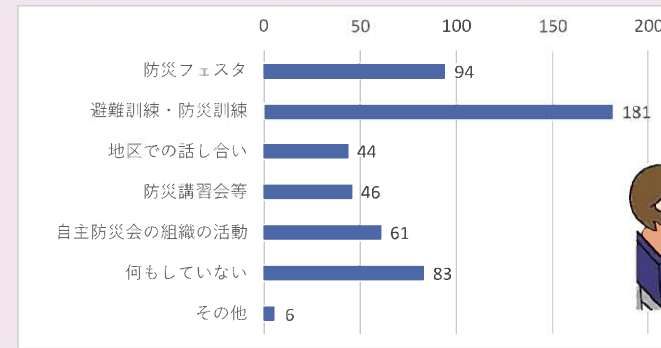
### 地震



### 風水害

避難のタイミングについて、地震は発生後の避難となるため、自宅の損傷やライフライン途絶など、住まいの被害が避難のきっかけとなっているのに対し、風水害の場合は発生前の避難であり、避難指示（警戒レベル4）の発令と周辺での被害発生をきっかけとする意見が多くなっています。  
 また、自宅にとどまるという回答が、風水害では地震の場合を上回っており、在宅避難についても一定の認識がなされているものと思われます。

## 【防災行事等への参加について】



防災行事等への参加について、半数以上の方が避難・防災訓練への参加を回答しています。一方で、何もしていないと回答した人も多く、今後の意識啓発が期待されます。

## ■ 石畳小学校区で取り組むべき対策

現地調査、ワークショップ、アンケートを通じてわかった石畳小学校区の特性から、**住民の皆さんに今後特に取り組んでいただきたい項目をまとめました。**

地域の課題を把握し、強みを生かすことで、災害被害を最小限におさえることも十分可能です。**できることから一つずつ始めていきましょう。**

### ● 防災に関する普及啓発、リスクコミュニケーション

1. 自主防災会、藤岡北部防災会メンバー、各自治区役員などを中心に、日ごろから防災の普及・啓発を行きましょう。
2. 自治区単位での防災訓練、指定避難所・自主避難場所運営訓練などを繰り返し実施し、「**防災力**」を**アップ**しましょう。
3. 安否確認、災害時情報収集の訓練をしましょう。
4. 土砂災害警戒区域内にある自主避難場所の見直しをしましょう。
5. 防災まち歩き・山歩きを通じて、地域のリスクや、指定避難所・自主避難場所以外の「逃げ場」もできるだけ多く見つけておきましょう。

### ● 地区内での体制づくり

1. 要支援者（特にひとり暮らしの高齢者）が**逃げ遅れない**ための、自治区でのネットワークづくりをしましょう。
2. 指定避難所までの距離が遠い人は、**近くに安全に避難できる場所**を探しておきましょう。
3. 三箇町、西市野々、折平町など、区域が広い自治区では、自治区内が分断された場合を想定して、**集落単位で避難や災害対応ができるような体制を整え**ましょう。
4. 石畳、ファーツリーなど新たに転入してきた方が多い自治区では、**転入者の方に身の回りのリスクや避難方法を知ってもらう機会**を設けましょう。



**本ページ及び15,16ページ(防災上の課題・今後取り組むこと)を参考にみんなで防災やその対策について考えてみましょう!**

## ■ 非常時の持ち出し品・備蓄品

# チェックリスト

- 以下の項目は参考例です。独自の持ち出し品リストを作成して災害に備えましょう。
- 非常持ち出し品は、リュックタイプの袋などにまとめておきましょう。
- 定期的に中身のチェックを行きましょう。（食品の賞味期限、電池など）
- その他を考える場合は、ライフライン（電気、水道、ガス）が止まった時のことを考え、具体的な行動をイメージし、準備をしておきましょう。

### 便利品

- 防災ずきんorヘルメット
- 懐中電灯
- 笛やブザー
- 万能ナイフ
- マスク
- ビニール袋
- 毛布
- スリッパ
- マッチorライター
- 雨具（レインコートなど）
- レジャーシート
- 簡易トイレ

### 食品

- 非常食（最低2日分）
- 飲料水（目安：2L/日）

### 衛生面

- 救急セット
- 常備薬、持病薬
- タオル
- 着替え
- 口腔ケア用品（歯ブラシなど）
- ウエットティッシュ

### 貴重品

- 現金
- 車や家の鍵
- 銀行の口座番号
- 生命保険契約番号など
- 健康保険証
- 身分証明書（運転免許証など）
- 印鑑
- 母子健康手帳

### 情報

- 携帯電話
- 充電器（モバイルバッテリー）
- 携帯ラジオ（予備電池含む）
- 緊急時の家族・親戚・知人の連絡先
- 豊田市ハザードマップ
- 筆記用具

### その他

- おくすり手帳
- 紙おむつ（幼児用、高齢者など）
- 粉ミルク、哺乳瓶
- 生理用品
- ペットフード、シート

# ■マイ・タイムラインを作ろう！

台風や集中豪雨等によって引き起こされる災害に備え、家族の中で「いつ」「誰が」「何をするのか」を時系列に沿って整理した「マイ・タイムライン」を作り、いざというときに、あわてず、迷わず、確実な避難行動がとれるよう準備しておきましょう。

記入例

## マイ・タイムラインシート

作成年月日 ○○ 家

避難先① 緊急避難場所 避難方法: 徒歩 所要時間: 15分	避難先② 在宅避難 避難先: 自宅の2階 避難方法: 徒歩 所要時間: 1分
-----------------------------------------	----------------------------------------------------

おおまかな時系列	行動のタイミング	取るべき行動			
		避難先で必要になる物の選定	非常持出袋の準備	土のうの用意	家族の予定の確認
前日までにしておくこと	雨風が強くなる前に	<input type="checkbox"/> 避難先で必要になる物の選定 場所: ママ 時間: 今月中	<input type="checkbox"/> 非常持出袋の準備 場所: パパ 時間: 今月中	<input type="checkbox"/> 土のうの用意 場所: パパ 時間: 前日	<input type="checkbox"/> 家族の予定の確認 場所: ママ 時間: 前日
雨風が強くなる前に	大雨・洪水注意報	<input type="checkbox"/> 食料品などの買い出し 場所: ママ 時間: 前日	<input type="checkbox"/> 家の周りがある風で飛ばされそうな物の片付け 場所: パパ 時間: 40分	<input type="checkbox"/> 家の周りの側溝の掃除 場所: ママ 時間: 40分	<input type="checkbox"/> 気象情報の確認 場所: 全員 時間: 随時
避難する前に	大雨・洪水警報	<input type="checkbox"/> 携帯電話の充電 場所: 太郎 時間: 2時間	<input type="checkbox"/> マイ・タイムラインや避難経路の再確認 場所: 全員 時間: 15分	<input type="checkbox"/> テレビをつけて常に情報を得られるようにしておく 場所: 花子 時間: ずっと	<input type="checkbox"/> 定期的に気象情報や推移の確認 場所: 全員 時間: ずっと
避難する前に	警戒レベル3	<input type="checkbox"/> 土のうの設置 場所: パパ 時間: 15分	<input type="checkbox"/> 非常持出袋の中身の確認 場所: ママ 時間: 10分	<input type="checkbox"/> 断水に備えて浴槽に水を溜る 場所: 太郎 時間: 10分	<input type="checkbox"/> 定期的に気象情報や推移の確認 場所: 全員 時間: ずっと
避難する前に	警戒レベル3	<input type="checkbox"/> シャワーを浴びる 場所: 全員 時間: 20分	<input type="checkbox"/> 避難しやすい服装に着替える 場所: 全員 時間: 5分	<input type="checkbox"/> 身内や支援者に状況を知らせる 場所: ママ 時間: 15分	<input type="checkbox"/> 戸締り <input type="checkbox"/> 雨戸を閉める <input type="checkbox"/> プレーカーを切る 場所: パパ 時間: 15分
避難する前に	警戒レベル3	<input type="checkbox"/> 組内の人への声掛け 場所: ママ 時間: 15分	<input type="checkbox"/> 避難行動を開始 場所: 家族全員	<input type="checkbox"/> 区長さんに避難の連絡 場所: 花子 時間: 5分	<input type="checkbox"/> 身内や支援者に状況を知らせる 場所: ママ 時間: 5分
避難する前に	警戒レベル4	<input type="checkbox"/> 避難行動を開始 場所: 家族全員	<input type="checkbox"/> 避難行動を開始 場所: 家族全員	<input type="checkbox"/> 出火やガス漏れ、地震れなど周囲に気をつける 場所: ママ 時間: 5分	<input type="checkbox"/> ベットを連れていく 場所: パパ 時間: 5分
命を守る行動	災害の発生	<input type="checkbox"/> 2階へ避難し、身の安全を確保する 場所: 家族全員	<input type="checkbox"/> 気象情報の確認 場所: 家族全員	<input type="checkbox"/> 身内へ再度連絡 場所: ママ 時間: 5分	

洗濯や事故のリスクが増加することを理解し、余裕をもったタイミングを設定することが重要です。

避難の準備に何を行うか、どれくらいの時間がかかるのかは、世帯によって(場合によっては世帯員でも)違います。我が家の事情を踏まえて考えてみましょう。

記入例を参考に、「マイ・タイムライン」を作成してみましょう！

作成日 年 月 日	避難先① 避難先の種類: 在宅避難 避難先の名称: 自宅の2階 避難方法: 徒歩 所要時間: 1分 備考:	避難先② 避難先の種類: 在宅避難 避難先の名称: 自宅の2階 避難方法: 徒歩 所要時間: 1分 備考:
大まかな時系列	行動のタイミング	取るべき行動
前日までにしておくこと	雨風が強くなる前に	
当日の早い段階で、余裕のあるうちに	雨風が強くなる前に	
避難するために準備しておくこと	避難する前に	
避難時に	行避難	
命を守る行動	災害発生	

マイ・タイムラインの作り方マニュアルは、  
豊田市のホームページからダウンロードできます。  
<https://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/bousaibouhan/1031853/1043674.html>